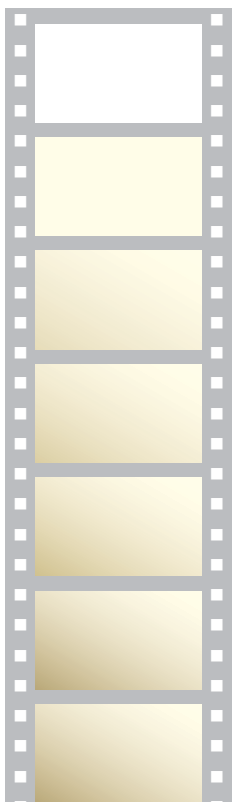


伸^{ノブ}さんのシネマトーク

鈴木 伸夫



第八回 「実録逃亡者」

さて、前回テレビ映画「逃亡者」は「レ・ミゼラブル」のジャン・バルジャンをベースにしたとお知らせしましたが、実は、同様な事件が56年前（54年）オハイオ州クリーブランドで発生しているのです。

「サム・シェパード夫人殺人事件」。医師のサム・シェパードの妻マリリンが自宅で惨殺され、夫のサム・シェパードが逮捕、終身刑の判決を受けて、刑務所に入れられた事件です。

ドラマに出てくる片腕の男はフィクションで、シェパード医師は、「髪がくしゃくしゃの男」を目撃して追跡、その男に殴打され意識を失います。

また、ドラマのような護送途中の脱走劇とか、真犯人探しの旅などはありません。事件から5ヶ月後「評決」が下され、終身刑が決まるのです。10年後、再審の結果、「えん罪」の結論が出て自由の身となります。しかし、医業を再開せず、「キラー・

サム」のリングネームでプロレスラーに転向しますが、肝不全のため46才の若さで死亡します。

ところで、父の汚名を返上しようと一人息子のサム・ニール・シエパードやシエパード医師の兄弟は、DNA鑑定が裁判の証拠として採用されることになったこと、刑務所で自分が真犯人だと吹聴している「リチャード・エバリング」という男がいるということ、2つの理由から裁判を起こそうとしましたが、「リチャード・エバリング」は心臓発作のため獄中死してしまいます。一方、墓まで掘り起こして調査したDNA鑑定の結果、家の中の血痕はエバリングのものであることが判明し、ニールや兄弟はサムの無実への思いを4年ぶりに晴らすことができたのです。

テレビ放送の最終回は、前後篇で「裁きの日」というタイトルで放送されました。キー局では、最終回の数回前に番組を休止して、「犯人あてクイズ」を実施しました。多くの友達のなかから、犯人は「ジェラード警部」という答もありました。大いに盛り上がったところで最終回を迎えました。予想通り犯人は「片腕の男」で、一件

落着となりました。そして4年間、ナレーションを担当した矢島正明のクロージン
グナレーションは「9月2日土曜日、逃亡の旅は終った」でした。

(了)

(文中敬称略)

伸

平成22年11月